



okamoto



第125期

株主通信

2020.4.1 ▶ 2021.3.31

New Basic

身近な暮らしを科学する

オカモト株式会社

■ トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにご尽力されている関係者の皆様に、深く感謝を申し上げます。

2021年6月29日（火）の当社定時株主総会並びにその後の取締役会におきまして、代表取締役会長兼社長に就任いたしました岡本良幸でございます。引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ここに、当社第125期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役会長兼社長 **岡本良幸**



「身近な暮らしを科学する」を掲げ、時代の変化に伴う市場ニーズの的確な把握と、新製品開発及びラインアップの拡充に取り組んでまいります

当連結会計年度におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けながら推移いたしました。個人消費につきましては新型コロナウイルスのワクチンの開発・接種の始まりに伴い少しずつ回復の兆しを見せてきましたが、感染力の強い変異株が発生し、直近では感染の再拡大が深刻化しており、感染の終息が見通せないなど、先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループは新型コロナウイルス感染症防止対策を講じ、お客様との対面による営業活動の自粛、オンラインを活用した「ウィズ・コロナ」時代の新しい営業スタイルの構築等を行うとともに、回復基調にある市場でのシェア拡大に向けて事業活動を行ってまいりました。

結果、当連結会計年度における売上高は86,361百万円(前年同期比4.6%減)となりました。利益面では前期は「令和元年東日本台風」による福島工場の被災の影響等がありましたが、今期は

福島工場が復旧したこと及び在庫圧縮やコストダウンを継続したことで営業利益は8,269百万円(前年同期比12.6%増)、経常利益は9,794百万円(前年同期比14.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は5,697百万円(前年同期比63.3%増)となりました。

期末配当金は1株当たり50円とし、年間配当金では1株当たり100円とさせていただきます。

当社グループは「身近な暮らしを科学する」を掲げ、時代の変化に伴う市場ニーズの的確な把握と、新製品開発及びラインアップの拡充に取り組んでまいります。企業として全てのステークホルダーに対する社会的責任を真摯に受け止め、コンプライアンスやリスク管理体制のさらなる充実を図るとともに、より透明性のある経営を目指し、内部統制の強化、情報開示の充実に努めてまいります。

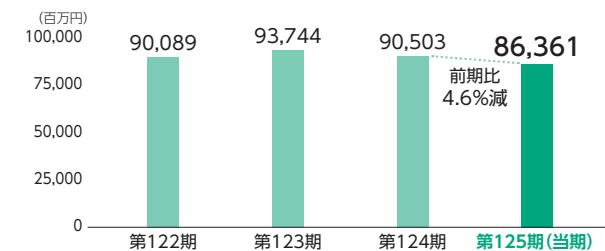
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 連結財務ハイライト

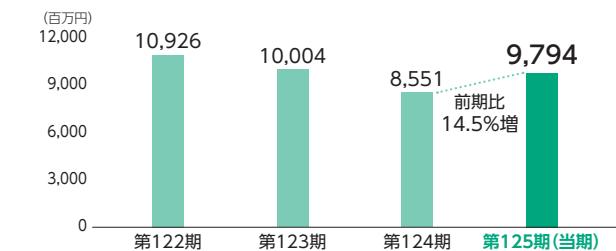
主要連結財務データ

	第122期 2018年3月期	第123期 2019年3月期	第124期 2020年3月期	第125期(当期) 2021年3月期
売上高	90,089 百万円	93,744 百万円	90,503 百万円	86,361 百万円
営業利益	10,155 百万円	8,678 百万円	7,345 百万円	8,269 百万円
経常利益	10,926 百万円	10,004 百万円	8,551 百万円	9,794 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	6,820 百万円	6,420 百万円	3,489 百万円	5,697 百万円
1株当たり当期純利益	349.45 円	334.94 円	184.52 円	304.04 円
総資産	107,464 百万円	108,262 百万円	104,081 百万円	112,070 百万円
純資産	65,216 百万円	66,095 百万円	63,838 百万円	70,316 百万円
1株当たり純資産	3,218.96 円	3,319.51 円	3,258.01 円	3,609.27 円
配当	95.00 円	125.00 円	100.00 円	100.00 円

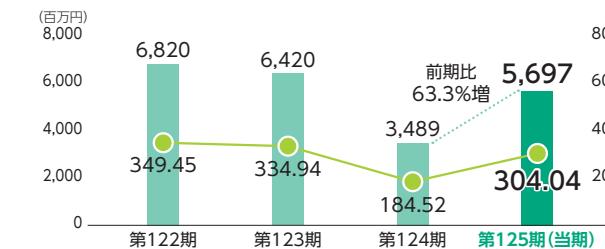
● 売上高



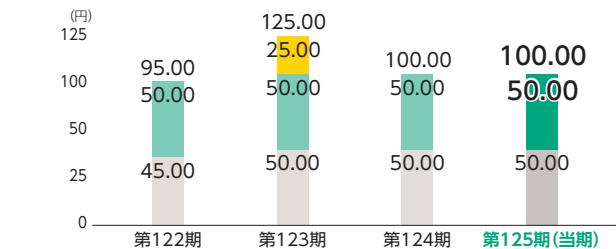
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



● 配当



※当社は2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しました。第122期～第123期の配当金は、当該株式併合の基準で換算した金額を記載しております。

“ 新型コロナウイルス感染症への対応 ”

社会への取り組み

様々な場面で活躍するオカモトの製品

オカモトの製品の中には、感染対策に使用されるものが多くあります。医療用の手袋はもちろんですが、衛生意識の高まりから、使いきりの手袋や家庭用手袋の需要が高まりました。

また、医療施設・学校施設の感染対策として滅菌器の需要も多くありました。

通常の用途以外でも、経済産業省からの依頼に応える形で医療用ガウンの代用品としてレインウェアを供給しました。また、使いきり手袋について経済産業省より増産要請を受け、コロナ対策用として特別に手袋を増産いたしました。

その結果、2020年12月に経済産業大臣より感謝状が授与されました。



これからも、「身近な暮らしを科学する」企業として社会的責任を果たしてまいります。



対策製品の発売

抗ウイルスPVCフィルム「Vバスター®」新発売

PVCフィルムシリーズの新たな製品として、抗ウイルス加工、抗菌のSIAAマークを取得した「Vバスター®」を発売しました。



「Vバスター®」は、SIAAが制定した抗ウイルス、抗菌に関する安全基準に適合しており、PVCフィルム表面に付着した特定ウイルスの数を減少させ、大腸菌、黄色ブドウ球菌の増殖割合を100分の1以下に抑制します。

飛沫防止用だけでなく、文具、雑貨用を中心に様々な用途にお使いいただけます。



Vバスターを使用したブックカバー

オカモト化成株式会社 対策品を新発売



新型コロナウイルス感染症予防でパーティションのニーズが高まる中、オカモト化成では「高透明クリアパーティション」「メガネタイプフェイスシールド」「高透明飛沫防止防災吊り下げカーテン」等の飛沫対策品を開発し販売しております。最近ではよりクリアな視界を可能にした、乱反射防止タイプのパーティションとフェイスシールドも開発し、大学や飲食店等に採用されております。

社内の取り組み

リモートワークの推進

当社は、従業員の健康増進に取り組む企業として従業員の安全を第一に考え、リモートワークを推奨し、新しい生活様式に対応しながら営業活動を行っております。

NEWS & TOPICS

オカモトグループのさまざまな活動や取り組みをご紹介します。

世界長ユニオン株式会社 初の直営店出店

世界長ユニオン株式会社では、初の直営店となる「Panther / UNIONIMPERIAL日比谷OKUROJI店」を東京都千代田区内幸町のJR高架橋下を活用した商業施設「日比谷OKUROJI(ヒビヤオクロジ)」内に2020年9月10日にオープンさせました。

スニーカーブランド「Panther(パンサー)」と紳士靴ブランド「UNIONIMPERIAL(ユニオンインペリアル)」のコンセプトショップです。両ブランドは細部にまでこだわった素材や技法、その繊細な工程によって、世界に誇る「MADE IN JAPAN」の靴作りを追求しています。



オカモト環境開発株式会社設立

地球環境の保護への取り組みを強化し、廃プラスチックの再利用を推進して廃棄物としての排出量を削減するため、2020年10月1日に新会社を設立いたしました。

新会社の設立を通じて、生産工程で排出される端材等を再利用した新製品の開発を強化して、廃棄物のさらなる削減と、原材料のより有効かつ効率的な活用を進めます。

プラスチック容器はリサイクル材を使用しております。



中華人民共和国での車輦内装材新工場設立のご案内

車輦内装材事業における世界的な市場競争力強化のため、日本(静岡県)及び米国(オハイオ州)の生産拠点に加えて、2021年12月(予定)に中華人民共和国湖北省(武漢市)へ新工場を設立します。

中国には多くの自動車及び部品メーカーが生産拠点を開設しており、各部材の現地調達の動きに合わせて世界的な競争力を強化するために供給体制を構築します。

サステナビリティへの取り組み

○ 仕事と家庭の両立

当社では、社員が仕事と家庭を両立できるよう、産前産後休暇・育児休業、育児短時間勤務などの制度を設け、取得の奨励をしています。

	2018年	2019年	2020年
育児休業実績	14名 うち男性1名	13名	19名 うち男性2名
育児短時間勤務利用者	29名	25名	21名

○ 女性活躍の推進

誰もが働きやすい職場へ

当社は、企業としての持続的成長を図るべく、多様性のある組織づくりに取り組んでおります。従業員の採用活動では性別に関係なく幅広い人材確保に努めております。

また、女性の視点・消費者の立場からモノづくりを行う「もっとgood!女視プロジェクト」の活動は、8年目を迎えました。今期は、手袋や除湿剤の新商品を開発し、上市しました。

社会貢献活動

○ 性感染症予防啓発動画の公開

Condom着用率向上を目的とした情報発信サイト「オカモトラバース研究所」にて、新コンテンツ「コンドーム バトラー ゴロー」を制作・公開しました。

社会課題である「予期しない妊娠」や「性感染症」の予防啓発活動に取り組んでいる当社では、若者に目を向けてもらうための活動の一環として、2015年より「オカモトラバース研究所」を通じた情報発信を行っております。今期はコロナ禍の影響で直接啓発活動を行うことができませんでしたが、若者が受け入れやすいカジュアルなコンテンツを通して、コンドームについての正しい知識や必要性を感じてもらうことを目指しています。

また、この動画はACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 2020フィルム部門Bカテゴリー(Online Film)及び、Spikes Asia2021フィルム部門にてそれぞれブロンズ賞を受賞しました。アニメを見ながら知識が得られるという啓発方法が評価をされました。



若者が親しみやすい、アニメ形式のコンテンツ。

産業用製品事業

ゴムの成膜技術を応用し、主に原油由来のプラスチック原料からフィルムシートを製造し、他の事業者へ供給する事業。

原油やナフサの市場動向と、世界的なプラスチック原料の需給バランスに影響を受けやすい環境にあり、当期は、福島工場が復旧しコロナ禍からの回復途上にあるなかで、減収増益となりました。

62.2%

* 多層フィルム事業

オレフィン系多層フィルムは異なる素材を多層構造に貼り合わせることで、レトルト食品包装、豆腐等の容器トップ材、医療用輸液バッグのほか、電気部材等の工業用途にも使用されています。



* 農業用フィルム事業

全国の自然環境や作物の特性に合わせて、保湿性や耐久性の向上のほか、紫外線抑制、散乱光等の機能性、温度抑制効果機能のある農ビ(ポリ塩化ビニル製)や農ポリ(ポリオフィレン製)のフィルムを販売しております。



* フレキシブルコンテナ事業

ポリ塩化ビニルやポリエチレンといった合成樹脂のほか、化学品や飼料・肥料等を運搬するためのコンテナバッグを販売しております。



* フィルム事業

一般用・工業用として製造販売するフィルム・PPシートは、手帳やクリアフォルダ等の身近な製品から、看板広告、工場の間仕切り等、様々な用途に使用されております。

コロナ禍では、透明フィルムに抗菌や抗ウイルス処方を施し、飛沫防止用としても多く使用されております。

また、当社内でデザインを開発・印刷する建材用フィルムは、玄関ドアやユニットバス等の住宅建材の他、看板広告や自動車インテリア等にも使用されております。



* 粘着テープ・工業用テープ事業

梱包用途や養生用途として、布・クラフト紙・ポリエチレンなどの様々な基材を使用した粘着テープを販売しております。

また、ブチルゴムを使用した住宅建材用テープ、ポリイミドやポリエステル等のフィルムを使用した精密機器・精密加工等に使用される工業用テープを販売しております。



* 食品衛生関連事業・食品用脱水・吸水シート事業

食品スーパーや飲食店向け業務用としてのラップフィルム、ポリ塩化ビニルやニトリルゴム製の手袋のほか、家庭用ラップ「やさしいラップ」と、特殊多層構造の「カシニーナ ピタッ」とラップ®を販売しております。

また、浸透圧の力で肉や魚を脱水する「ピチット®」、高吸収ポリマーで吸水する「レッドキーパー®」を販売しております。



* 車輦内装材事業

国内工場(静岡)・米国工場(オハイオ州)の両工場にてデザイン開発から試作・量産まで一貫して行い、自動車のダッシュボード、座席、ドア等に使用される内装用表皮材を販売しております。

その他、二輪車の座席用表皮材、椅子張り用表皮材等を販売しております。



* 壁紙事業

様々な色を重ね合わせた壁紙や、起伏をつけて立体的な表現を施した壁紙のほか、汚れや臭い対策を施した壁紙など、幅広いラインアップの製品を販売しております。

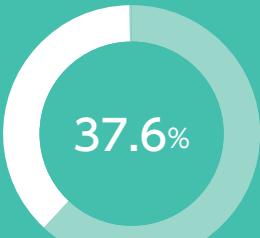
新たに開設したつくば工場(茨城県牛久市)を本格稼働させ、増産と新製品開発に取り組んでいます。



生活用品事業

コンドームや長靴、医療用・家庭用手袋などのゴム製品のほか、カイロ、除湿剤、雨衣、紳士靴、スニーカー、滅菌器、浣腸等を製造販売する事業。

消費者の消費動向、外国製品の輸入コストや為替の変動のほか、気候変動に影響を受けやすく、当期は、福島工場の復旧はありましたが、商品の販売低迷により、減収増益となりました。



除湿剤事業

「水とりぞうさん[®]」の愛称でご好評いただいている除湿剤は、タンクタイプ(400mL、550mL)、シートタイプ(クローゼット用、引き出し用、下駄箱用等)のラインアップで販売しております。

また、使わなくなった布団を収納する際の湿気や、家具裏のちょっとしたすき間のカビ対策品も取り揃えております。



コンドーム事業

国内工場(茨城)・タイ・中国の3工場で生産するコンドームは、「オカモトゼロワン(0.01mm台)」、「オカモトゼロツー(0.02mm台)」、「ゼロゼロスリー(0.03mm台)」を中心に様々な製品を国内外で販売しております。

特殊な潤滑剤「ビバジェル」を使ったコンドームや、コンドームそのものに絵柄をプリントした「デザインコンドーム」などの新商品も話題になっております。



手袋事業

家庭用手袋として「ビルパール[®]」「マリーゴールド」「サーモ発泡」などに加え、北欧調デザインと機能性を兼ね備えた「カシニーナ」シリーズや、使いきりタイプ等を販売しております。

また、精密機器メーカーでも使用実績のあるクリーンルーム用手袋や、農作業や機械整備作業の従事者にご好評な作業用手袋等も販売しております。



メディカル事業

医療機関向けの手袋は、手術用や検査検診用等の用途に合わせた幅広いラインアップで販売しております。また、主に歯科やクリニックで使用される滅菌器は、様々なサイズを展開しております。

経陰用超音波プローブカバーにおいてはコンドームの技術を展開しポリウレタン製の新商品を開発し、産科・婦人科へ販路拡大しております。また、浸透圧吸水性の創傷被覆材「オスマパッド」等の新商品開発にも継続して取り組んでおります。



ブーツ・雨衣事業

ホームセンター等の量販店向けの天然ゴム製長靴のほか、靴底にスパイクを施した作業用ブーツや、つま先をガードするセーフティシューズを販売しております。

また農作業や土木作業、軽作業などでの風除け、泥よけに使用できるヤッケ類、耐水性を高め、小型・軽量タイプの雨衣等を販売しております。



その他事業

かつて自動車用タイヤを生産していた群馬工場跡地(群馬県太田市。約57,000㎡)を有効活用し、自社にて太陽光パネルを設置し、「太田ソーラーパーク」として太陽光発電事業(発電能力は約4,250kW)を行っております。



■ 会社概要

会社概要 (2021年3月31日現在)

社 名 オカモト株式会社
 設 立 1934(昭和9)年1月10日
 資 本 金 13,047,630,757円
 (東証1部上場銘柄)
 従 業 員 数 1,166名
 本 社 〒113-8710
 東京都文京区本郷3丁目27番12号
 電話(03)3817-4111(代表)
 大 阪 支 店 〒540-0022
 大阪府大阪市中央区糸屋町2丁目4番6号
 電話(06)4793-8500(代表)
 名古屋営業所 〒461-0025
 愛知県名古屋市中区徳川1丁目901番地
 電話(052)933-1171(代表)
 福岡営業所 〒815-0035
 福岡県福岡市南区向野1丁目13番9号
 電話(092)557-2600(代表)

役員 (2021年6月29日現在)

代表取締役 会長兼社長	岡本 良幸	取 締 役	福田 昭彦
代表取締役 副 社 長	岡本 邦彦	取 締 役	中島 哲夫
専務取締役	矢口 昭史	取 締 役	久米 孝之
専務取締役	高島 寛	取 締 役	佐藤 篤史
専務取締役	岡本 優	取 締 役	山崎 実
常務取締役	池田 佳司	社外取締役 (監査等委員)	相澤 光江
常務取締役	土屋 洋一	取 締 役 (監査等委員)	有坂 衛
常務取締役	田中 健嗣	社外取締役 (監査等委員)	深澤 佳己
取 締 役	野寺 哲生	社外取締役 (監査等委員)	荒井 瑞夫
取 締 役	田中 祐司		

オカモトの技術を支える国内生産拠点・海外拠点

当社グループは、国内の拠点それぞれがゴムとプラスチックの加工技術を深化させるとともに、総合メーカーとしてそれぞれの技術を融合させ、発展してまいりました。またグローバルに展開するお客様のニーズにお応えするため、中国やタイ、米国等に拠点を拡張してまいりました。

これからも国内での研究開発の推進、国内で策定する品質管理基準の統一な運用を基礎としながら、世界レベルでの生産と供給の最適化を図り、より多く社会に貢献できる企業を目指してまいります。

国内生産拠点

- **静岡工場**
 所 在 地: 静岡県榛原郡吉田町神戸1番地
 生産品目: ビニルフィルム、多層フィルム、
 農業用フィルム、ビニル壁紙、
 車輻内装材など
- **茨城工場**
 所 在 地: 茨城県龍ヶ崎市板橋町字
 西山1番地
 生産品目: コンドーム、粘着テープ、
 ホウ酸ダンゴ、手袋、カイロ、
 食品用脱水・吸水シート
- **福島工場**
 所 在 地: 福島県いわき市平赤井字
 日渡71番地
 生産品目: ラップフィルム、
 ポリプロピレンシート、
 除湿剤、フレキシブル
 コンテナ、ゴムバンド、
 インジェクションブーツ
- **つくば工場**
 所 在 地: 茨城県牛久市桂町2200-2
 生産品目: ビニル壁紙



静岡工場



福島工場



茨城工場



つくば工場



Siam Okamoto Co.,Ltd.



Okamoto Sandusky Manufacturing,LLC



広東岡本衛生科技有限公司

海外拠点

- タイ**
 - Siam Okamoto Co.,Ltd.
 事業内容: ラテックス手袋の製造
 - Okamoto Rubber Products Co.,Ltd.
 事業内容: コンドームの製造
 - Okamoto Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd.
 事業内容: ポリエチレン手袋の製造
- 中国**
 - 岡本貿易(深圳)有限公司
 事業内容: 車輻内装材、コンドームの販売
 - 広東岡本衛生科技有限公司
 事業内容: コンドームの製造
- 香港**
 - 岡本(香港)有限公司
 事業内容: シューズ、ビニルフィルム、
 医療・日用品の販売
- 米国**
 - Okamoto U.S.A.,Inc.
 事業内容: ビニルフィルム、医療・日用品の販売
 - Okamoto Sandusky Manufacturing,LLC
 事業内容: 車輻内装材の製造、販売
- ベトナム**
 - Vina Okamoto Co.,Ltd.
 事業内容: ゴム長靴の製造

子会社紹介

イチジク製薬株式会社 |

1925年、田村廿三郎医師がイチジク印軽便浣腸を開発し、以来96年にわたり「イチジク」のブランドで浣腸を製造・販売してきた家庭薬メーカーです。

便秘は、性別や年齢に関わらない身近な問題で、深刻な症状に発展するおそれもあります。

浣腸は「飲まない便秘の薬」として長年愛されてまいりました。0歳児から高齢者までご使用いただける製品を取り揃えるとともに、お子様の便秘で悩んでいる母親向けの啓発活動も行っております。



▼イチジク浣腸30「青色」と「白十字」のデザインをシンボルとして39年以上にもわたり販売しているロングセラー商品です。



| 船堀ゴム株式会社



▼工業用指サック



▲2014年9月に発売された「指ドーム」。

1959年、江戸川区船堀の地で創業した「工業用指サック」メーカーです。原材料にはコンドームと同じ天然ゴムラテックスを使用し、「薄くて丈夫、柔らかくて使いやすい」というゴムの特性を生かして製品ラインアップを広げ、精密機器に使用される電子部品などの製造現場でも愛用されております。

また硫黄や亜鉛等を含まない製品や、帯電防止機能を付加した製品などの販売を進めるとともに、業務用コンドーム事業にも展開しております。

オカモト化成株式会社 |

オカモトが生産するプラスチック素材を中心としたフィルム製品や、粘着テープ、食品用ラップ、手袋、長靴、雨衣等のコンシューマー向けの商品を販売しております。また、当社独自の視点で開発する加工商品も、幅広く市場へ展開しております。時流が求める商品開発にも取り組み、飛沫防止用のパーテーションやフェイスシールド等も開発し、お客様のニーズにお応えしております。



▲農業用フィルムは自社工場を中心に、加工商品をご提供しております。

ヒルソン・デック株式会社 |

1980年の創業以来、独自に第二種医療機器製造販売業としての許可を取得し、医療機関が治療や検査に使用する器具を滅菌する際の「滅菌器」を製造してまいりました。

医療機関の物理的な環境や滅菌する器具の種類等に応じて、様々な大きさや設置方法の滅菌器をラインアップとして取り揃えております。



| 世界長ユニオン株式会社

1919年創業の「大阪ゴム底足袋株式会社」と1952年創業の「ユニオン製靴株式会社」を起源として、オカモトのシューズ事業も統合して2010年に誕生したメーカーです。



▲日本人に優しいフィットिंगのUNIONIMPERIAL



▲Dr.ASSYイメージキャラクターの渡辺正行さん

直営の製靴工場(千葉)で企画開発から手掛ける紳士靴として「Marelli」「UNIONIMPERIAL」などを販売するほか、ロングセラーの婦人コンフォートシューズ「TOPAZ」、独自開発の木型を用いた紳士コンフォートシューズ「Dr.ASSY」とロコモ対策として健康をテーマにしたウォーキングシューズ「LOCOWALK」、50年の時を超えて復活したスニーカー「Panther」に加え、アメリカ生まれのフィットネスブランド「BEACHBODY」等を販売しております。

理研コランダム株式会社 |

1935年(昭和10年)に、財団法人理化学研究所で研究開発された人工研磨材「砥粒」を用いて、研磨布紙の製造・販売を目的に設立されました。

あらゆるモノを「削る・磨く」ことを社業に、「砥粒」という刃物を、布・紙・フィルム・金属等に接着させ製品にします。製品は、研磨用ベルト、フラップディスク(多羽根ディスク)、事務機器等の送りロール等です。

2017年に9月にオカモト株式会社の連結子会社となりました。



新会社「オカモト環境株式会社」▶ 詳細はP.5 NEW&TOPICSへ

株式の状況

株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株

発行済株式総数 18,739,690株(自己株式を除く)

※上記より控除した自己株式数859,677株

株主数 6,276名

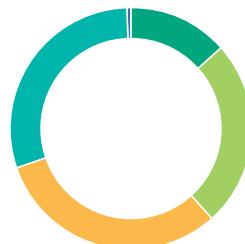
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	1,485	7.93
株式会社日本カストディ銀行	1,453	7.76
丸紅株式会社	1,442	7.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	938	5.01
株式会社みずほ銀行	934	4.99
有限会社八幡興産	706	3.77
やよい会	604	3.22
損害保険ジャパン株式会社	488	2.61
平井商事株式会社	377	2.01
オカモトグループ社員持株会	306	1.64

(注) 1. 信託銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数
株式会社日本カストディ銀行 1,453千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 938千株

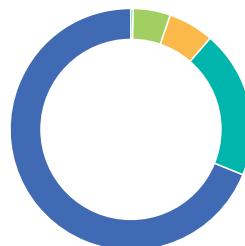
2. 持株比率は自己株式を除いた発行済株式総数に対する割合です。

所有者別株式分布状況



- 外国法人等 13.44%
- 個人・その他 24.90%
- その他の法人 31.44%
- 金融機関 29.69%
- 金融商品取引業者 0.53%

所有株式数別株式分布状況



- 1単元未満 0.20%
- 1単元以上～10単元未満 5.09%
- 10単元以上～100単元未満 6.10%
- 100単元以上～1,000単元未満 19.60%
- 1,000単元以上 69.01%

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～
翌年3月31日

剰余金の配当基準日 3月31日
(中間配当を行う)
場合は9月30日

定時株主総会 毎年6月下旬
単元株式数 100株

株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)

郵送物送付先

電話お問い合わせ先

公告方法

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL 0120-288-324(フリーダイヤル)

(お取扱店)みずほ信託銀行株式会社及びみずほ証券株式会社全国各支店
証券会社に口座をお持ちの場合は、お取引の証券会社へお問い合わせください。

電子公告 (<https://www.okamoto-inc.jp/>)

但し、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない
場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

オカモト株式会社

〒113-8710 東京都文京区本郷3丁目27番12号
(03) 3817-4111(代表)

<https://www.okamoto-inc.jp/>

UD FONT

